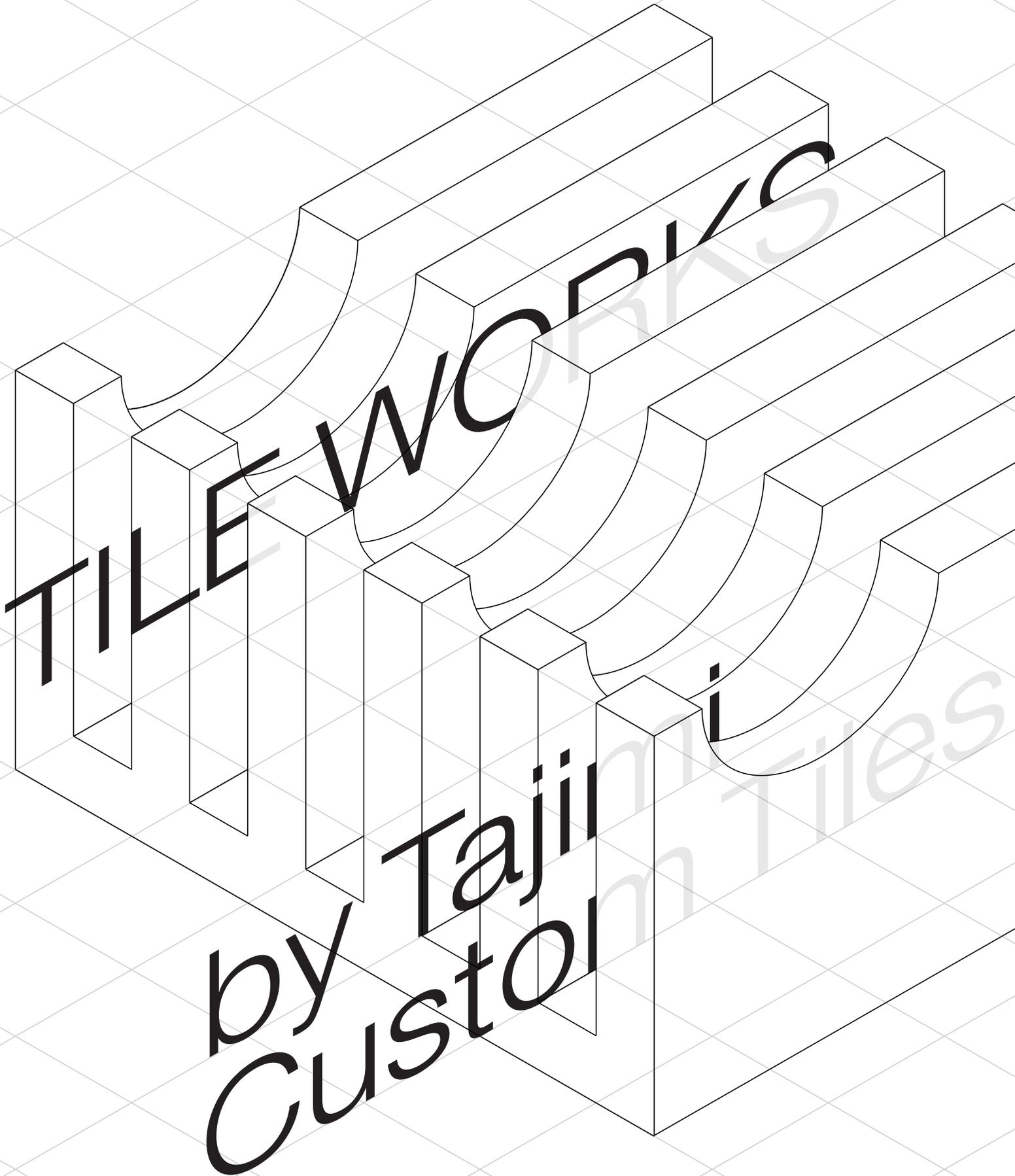


PRESS RELEASE



TILEWORKS  
by Tajil  
Custor

The image features a 3D isometric design of the text 'TILEWORKS' and 'by Tajil Custor' set against a light gray grid background. The letters are rendered as thick, black-outlined blocks with a perspective that makes them appear to rise from the grid. The word 'TILEWORKS' is positioned at the top, while 'by Tajil Custor' is located below it. A faint, semi-transparent watermark of the word 'TILEWORKS' is visible in the background, oriented horizontally.



# Shared Ground

## Tajimi Custom Tiles Tokyo 2025

### TILE WORKS

会期 | 2025年10月10日(金) - 10月19日(日) 11:00 - 19:00

会場 | (PLACE) by method

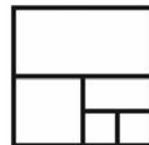
150-0011 東京都渋谷区東 1-3-1 カミニート 14号

国内最大規模のタイル生産量を誇る岐阜県多治見エリアを拠点にするオーダーメイドタイルブランドの Tajimi Custom Tiles (TCT) は、この度、展覧会「TILE WORKS」を開催します。

ブランド初の展覧会を東京で開催してから5年。デザイナーや建築家と地域のタイルメーカーをつなぐ協働のプラットフォームである TCT は、タイルという発想を出発点に、国際的なデザイナーと多治見の職人ならではの技術と想像力によって具現化されるプロジェクトやコラボレーションを日々行っています。

今回の展覧会では、デザイナー、**フィリップ・マルイン**とコラボレーション。フィリップがデザインしたオブジェを、多治見を代表するタイル製造方法の一つである押出成形技術を用いて制作し、新作インスタレーションを実現。また、ミラノの地下鉄のアイコンであるラバーの床“Pirelli floor”に発想を得て、**デザイン誌 Capsule** と開発したタイル「Metromilano」や、スイス人デザイナー、**ノエラーニ・ルッツ**の構想によるタイルシェルフなどを発表します。既存のタイルの常識を超え、カスタムメイドタイルの幅広い可能性を提示したいと思います。

この展覧会は、「Shared Ground」という総合タイトルのもと、隣接の CIRCLE で開催する、スイス・プロヘルベティア文化財団と在日スイス大使館が主催する協働型プログラムの成果を発表する展覧会「Design with Japan」と同時開催となります。



# Extrude / Cut

## by Philippe Malouin



フィリップ・マルインは、多治見で規模や個性もさまざまないくつかのタイルメーカーを訪れた際、2つの技法と出会いました。それは「粘土の押し出し成形」と「ワイヤーカット」です。押し出しによって作られる端正なライン、そしてワイヤーが粘土を切り取る瞬間の直接的な動き——その明快さとシンプルさに魅了された彼は、これらの技法を《Extrude / Cut》シリーズの出発点としました。シンプルなこの二つの工程を組み合わせたことで、生まれる形は予想外のものへ変換されています。従来の多治見のタイルの製造技術を駆使して、フィリップとタイルメーカーが作り出したオブジェは、見る人に自由な解釈を促し、既存のジャンルには収まらないかたち、用途を提示するものとなっています。

今回展示するファーストエディションの作品は、会期中に会場で販売をいたします。



Philippe Malouin (フィリップ・マルイン)

イギリスとカナダにルーツを持つフィリップ・マルインは、アイントホーフェン・デザインアカデミー、パリの国立高等工業デザイン創造学校 (ENSCI)、モントリオール大学で学んだ後、2008年に自身のスタジオを設立。プロダクトデザイン、アートオブジェやインスタレーション制作と幅広く活動しており、アート作品は、Salon 94 (NY) や The Breeder (アテネ) などのギャラリーで取り扱われている。主なクライアントに、Flos、Zanotta、Acerbis Design、HEM、石巻工房、Iittala、De Sede、SCP、Established & Sons、Marsotto Edizioni など。Wallpaper 誌の「Designer of the Year」受賞、フランス・ヴィラ・ノアイユの「Design Parade」の審査員長を務めるなど世界的に評価を得ている。

現在はロンドンを拠点に活動をしている。

# Metromilano by Capsule



クリエイティブ・スタジオ Capsuleとのコラボレーション。ミラノ地下鉄創業60周年記念のプロジェクトに関連して、メトロの駅のアイコンともいえるPirelli（ピレリ社）のラバーの床から発想したタイル「Metromilano」を制作。当時、建築家のフランコ・アルビニらが新しい地下鉄の駅のデザインを行うにあたり、中心的なエレメントとして用いたピレリ社のラバーの床。1964年に一号線の赤ラインが開通したとき、瞬く間にランドマーク的存在となり、同年コンパッソ・ドーロ賞を受賞、そして今も、建築家、デザイナー、通勤通学者にインスピレーションを与え続けています。

「Metromilano」は、地下鉄のデザインの本質を捉え、その素材を別のものに置き換え、ゴムの床の質感に近づけたセラミックタイルです。まったく新しく異なる文脈でもMetropolitana（ミラノ地下鉄）の精神を強く伝えています。圧力鋳込み（液体の土を石膏型に注入し鋳込む）を用い、ひとつひとつ職人の手によって作られています。色はCapsuleによる大胆な日本の解釈が入り、多治見特有のバリエーション豊富で透明感のある釉薬で表現されています。

今回の展示では、鋳込み成形による特別限定版の作品を紹介し、数量限定で販売もします。今後、製品としては、乾式プレス成形で生産をする予定です。

**Capsule** PLAZA

インテリアや建築、ファッションやテクノロジー、エコロジーやクラフトなど、より広い意味でのデザインの世界を掘り下げる雑誌と本のハイブリット Capsule。イタリアの先鋭的デザインの系譜にオマージュを捧げ、欲望と消費との関係を探求するもので、毎年ミラノ・デザイン・ウィーク中に発売。タイトルは黒川紀章設計の日本のメタボリズム運動のシンボルのひとつ、「中銀カプセルタワー」（1972）へのオマージュ。印刷物だけでなく、プロデュースなども行うキュレーション・プラットフォームであり、クリエイティブ・スタジオである。 [@capsule.global](https://capsule.global/plaza)

# Tajimi Custom Tiles



タイルの日本最大産地である岐阜県・多治見で、2020年にスタートしたオーダーメイドタイルのブランド。

複雑な形状から微妙な色調整まで、世界中の建築家やデザイナーの求めるタイルを、リクエストに合わせて制作するフルカスタムオーダーと、豊富なパレットから、形、表情、色味を組み合わせる選ぶセミカスタムオーダーが主軸のサービスです。丁寧な対話によりものづくりを進め、さまざまな規模のクリエイティブなプロジェクトをサポートするために、小ロット生産や世界各国への出荷にも対応しています。パートナーである多治見一帯の個性豊かなタイルメーカーと連携して行うものづくりは、ほかの地域ではあまり見られなくなった伝統的な成形／焼成技術、変化に富む釉薬表現が強みで、それにより複雑で表現力豊かなデザインが可能となり、建築家やデザイナーから「これは多治見でしか実現できない」と評価されています。拠点である岐阜県多治見の本社には、プロトタイプ制作やリサイクルタイルの研究開発を行うラボ、Tajimi Custom Tiles ガalleryも併設しています。Galleryではこれまでのコラボレーション作品の展示やさまざまなタイルのサンプルをご覧ください。 (事前予約制)

所在地：岐阜県多治見市旭ヶ丘 10-6-55

[tajimicustomtiles.jp](http://tajimicustomtiles.jp) @tajimicustomtiles

運営 | 株式会社エクシイズ

クリエイティブ・ディレクション | ダヴィッド・グレットリ

アートディレクション、グラフィックデザイン | セバスチャン・フェア

PR | 竹形尚子 (デイリープレス)

【プレスに関するお問合せ】

竹形尚子 (デイリープレス)

Tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 [naotakegata@dailypress.org](mailto:naotakegata@dailypress.org)